

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2020年5月12日

【四半期会計期間】 第62期第3四半期（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）

【会社名】 協立電機株式会社

【英訳名】 KYORITSU ELECTRIC CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 西 信之

【本店の所在の場所】 静岡県静岡市駿河区中田本町61番1号

【電話番号】 (054)288 - 8899（代表）

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 平井 伸太郎

【最寄りの連絡場所】 静岡県静岡市駿河区中田本町61番1号

【電話番号】 (054)288 - 8899（代表）

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 平井 伸太郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第3四半期連結 累計期間	第62期 第3四半期連結 累計期間	第61期
会計期間	自 2018年 7月1日 至 2019年 3月31日	自 2019年 7月1日 至 2020年 3月31日	自 2018年 7月1日 至 2019年 6月30日
売上高 (千円)	26,839,227	25,029,261	34,125,310
経常利益 (千円)	1,938,314	1,758,329	2,251,894
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,292,031	1,112,160	1,390,616
四半期包括利益又は包 括利益 (千円)	1,344,312	1,011,262	1,433,011
純資産額 (千円)	12,223,114	13,076,908	12,311,814
総資産額 (千円)	24,501,681	24,796,285	23,337,067
1株当たり四半期(当 期)純利益 (円)	321.05	276.36	345.55
潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純 利益 (円)			
自己資本比率 (%)	47.9	50.4	50.5

回次	第61期 第3四半期連結 会計期間	第62期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2019年 1月1日 至 2019年 3月31日	自 2020年 1月1日 至 2020年 3月31日
1株当たり四半期純利 益 (円)	162.74	150.62

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸送業の生産現場は厳しいもののEVに代表される旺盛な研究開発投資並びに5Gを中心とする半導体全般の回復と明暗が分かれました。しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的急拡大の影響により、先行きが極めて不透明な状況が続いております。

当社グループとしましては、経営基本方針としている「One Stop Shopping」施策を推し進め、受注範囲の拡大及び収益性の向上を目指し、新たなビジネスモデルの構築に引き続き尽力して参りました。人手不足が深刻化する環境下での省力化投資によるロボット需要の拡大、さらにはロボットの作業範囲を広げるAIの進展等、当社グループには強い追い風が吹いております。また、当社グループの有力客先である日系製造業の海外投資は地域差はあるものの引き続き堅調であり、海外で発生する新規需要を15年以上も前から整備・拡大してきた海外ネットワークを活かして取り込む中、海外ビジネスも堅調に推移しております。国内外を問わず、お客様の多くは引き続き投資意欲が旺盛ではあるものの、昨今の情勢の中でのその時期については慎重な判断も増えていることから、その動向を注視しつつグループ体制の強化を含め、当社グループ製品の市場拡大を目指し必要な施策を講じて参ります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は250億29百万円（前年同四半期比6.7%の減）となり、損益面としましては営業利益が17億8百万円（同9.5%の減）、経常利益が17億58百万円（同9.3%の減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が11億12百万円（同13.9%の減）となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、半導体関連業界が上向きであったことが牽引しIoTを活用した設備投資の増大により各種検査装置が好調だったこと、水質検査ビジネスが引き続き堅調であったこと等により順調に推移し、当社の「One Stop Shopping」施策等の効果も功を奏し、前年同四半期に比べ増収・増益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は88億72百万円（前年同四半期比2.8%の増）、営業利益は10億15百万円（同6.5%の増）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等の代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく、安定的な分野であります。当第3四半期連結累計期間においては、研究開発投資は依然旺盛であるものの中小規模の生産設備への投資は縮小並びに延期傾向が見られたことから前年同四半期に比べ減収・減益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は161億23百万円（前年同四半期比11.3%の減）、営業利益は9億20百万円（同21.8%の減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計額は247億96百万円で、前連結会計年度末に比べ14億59百万円の増加となりました。これは主として受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が9億9百万円、現金及び預金が3億35百万円、仕掛品が1億84百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が117億19百万円で、前連結会計年度末に比べ6億94百万円の増加となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が7億31百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が130億76百万円で、前連結会計年度末に比べ7億65百万円の増加となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金が1億63百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が8億70百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発費の総額は、2億1百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,000,000
計	10,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年5月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,369,200	4,369,200	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式 単元株式数100株
計	4,369,200	4,369,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日		4,369,200		1,441,440		1,830,491

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 344,900		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,002,000	40,020	同上
単元未満株式	普通株式 22,300		同上
発行済株式総数	4,369,200		
総株主の議決権		40,020	

(注) 証券保管振替機構名義の株式360株は、「完全議決権株式(その他)」の欄に300株及び「単元未満株式」の欄に60株含めて記載しております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 協立電機(株)	静岡県静岡市駿河区 中田本町61 - 1	344,900		344,900	7.89
計		344,900		344,900	7.89

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号。)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年7月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、芙蓉監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,715,358	3,050,574
受取手形及び売掛金	3 9,592,564	10,508,850
電子記録債権	3 2,415,475	2,408,215
商品及び製品	375,749	466,037
仕掛品	326,915	511,629
原材料	551,970	610,458
その他	252,873	338,364
貸倒引当金	179,748	181,112
流動資産合計	16,051,159	17,713,018
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,932,360	3,932,360
その他(純額)	1,117,702	1,085,835
有形固定資産合計	5,050,062	5,018,195
無形固定資産		
投資その他の資産	99,419	107,286
投資有価証券	1,608,455	1,382,675
その他	714,306	763,202
貸倒引当金	186,336	188,092
投資その他の資産合計	2,136,424	1,957,785
固定資産合計	7,285,907	7,083,267
資産合計	23,337,067	24,796,285
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 6,304,604	6,910,350
電子記録債務	1,272,099	1,397,966
1年内返済予定の長期借入金	600,000	200,000
未払法人税等	403,893	272,231
賞与引当金	158,356	328,945
役員賞与引当金	40,300	-
その他	684,322	649,080
流動負債合計	9,463,575	9,758,574
固定負債		
長期借入金	1,100,000	1,500,000
退職給付に係る負債	374,192	382,199
その他	87,485	78,603
固定負債合計	1,561,677	1,960,803
負債合計	11,025,253	11,719,377

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,872,079	1,872,103
利益剰余金	8,710,895	9,581,592
自己株式	424,422	424,522
株主資本合計	11,599,991	12,470,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195,699	31,816
その他の包括利益累計額合計	195,699	31,816
非支配株主持分	516,123	574,478
純資産合計	12,311,814	13,076,908
負債純資産合計	23,337,067	24,796,285

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	26,839,227	25,029,261
売上原価	22,079,737	20,387,688
売上総利益	4,759,489	4,641,572
販売費及び一般管理費	2,871,531	2,933,335
営業利益	1,887,958	1,708,236
営業外収益		
受取利息	3,131	2,570
受取配当金	11,785	12,615
仕入割引	30,772	28,519
為替差益	10,998	1,936
雑収入	14,240	12,666
営業外収益合計	70,928	58,308
営業外費用		
支払利息	4,256	3,363
売上割引	3,348	2,845
デリバティブ損失	7,386	-
雑損失	5,581	2,006
営業外費用合計	20,572	8,215
経常利益	1,938,314	1,758,329
特別利益		
固定資産売却益	32,815	129
投資有価証券売却益	40,496	2,137
保険解約返戻金	11,686	4,797
特別利益合計	84,998	7,064
特別損失		
固定資産除却損	8,774	663
投資有価証券評価損	36,972	-
特別損失合計	45,747	663
税金等調整前四半期純利益	1,977,565	1,764,730
法人税等	620,905	588,679
四半期純利益	1,356,660	1,176,051
非支配株主に帰属する四半期純利益	64,628	63,890
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,292,031	1,112,160

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	1,356,660	1,176,051
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	12,348	164,788
その他の包括利益合計	12,348	164,788
四半期包括利益	1,344,312	1,011,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,271,539	948,277
非支配株主に係る四半期包括利益	72,772	62,984

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

項目	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
287,362千円	千円

2 偶発債務

子会社の金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
協立電機(上海)有限公司 4,358千円	協立電機(上海)有限公司 4,252千円
Kyoritsu Engineering (Thailand) Co.,Ltd. 52,650千円	Kyoritsu Engineering (Thailand) Co.,Ltd. 33,400千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形等が、前連結会計年度の期末残高に含まれております。

前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
受取手形 156,845千円	千円
電子記録債権 39,255千円	千円
支払手形 138,967千円	千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	126,968千円	134,924千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年9月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	201,222	50.00	2018年6月30日	2018年9月27日

- 2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年9月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	241,462	60.00	2019年6月30日	2019年9月27日

- 2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,630,474	18,176,153	26,806,628	32,598	26,839,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	378,092	493,333	871,426	51,831	923,257
計	9,008,567	18,669,487	27,678,054	84,429	27,762,484
セグメント利益	953,350	1,178,253	2,131,604	73,866	2,205,470

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,131,604
「その他」の区分の利益	73,866
全社費用(注)	317,512
四半期連結損益計算書の営業利益	1,887,958

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,872,248	16,123,495	24,995,744	33,517	25,029,261
セグメント間の内部売上高又は振替高	394,683	379,611	774,294	52,696	826,991
計	9,266,931	16,503,107	25,770,038	86,213	25,856,252
セグメント利益	1,015,413	920,829	1,936,242	74,523	2,010,766

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,936,242
「その他」の区分の利益	74,523
全社費用(注)	302,529
四半期連結損益計算書の営業利益	1,708,236

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益	321.05円	276.36円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,292,031	1,112,160
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,292,031	1,112,160
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,024	4,024

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月8日

協立電機株式会社
取締役会 御中

芙蓉監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	鈴木 潤	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	鈴木 岳	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている協立電機株式会社の2019年7月1日から2020年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年7月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、協立電機株式会社及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。